学校番号	３２３

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	地理探究　（山川出版社） 詳説現代地図　最新版　（二宮書店）　※ 継続使用						
副教材等	地理探究ワークブック　（山川出版社） 地理統計要覧　２０２６年版　（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の地理総合で学習した全般的な基礎的な内容と、２年次の地理探究で学習した系統地理の一部の分野の内容を踏まえ、系統地理の２年次で学習していない内容と、現代世界の諸地域における地誌に主眼を置き、現代世界の諸地域の特徴や事例を詳細に、かつ体系的に捉え、相互に連携しあっていることを理解し、地理探究の学習の実践力へと伸長する。

また、系統地理の成因や空間的な規則性、相互の関連性、現在の動向などを関連づけて把握し、今まで学習した地理総合と地理探究での学習事項を基盤にさらに理解を深める。

大学入試の対応については、身につけた必要な知識と技能の力を把握すべく、旧センター試験の過去問の演習を適宜取り扱い、地形図・主題図・写真などを読み解く「地理の技能」についても育くむ。

2　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。また、地図や地理情報システム（ＧＩＳ）などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	人・モノ・金のつながり	① 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 世界を結ぶ通信 ② 貿易・観光 1 世界を結ぶ貿易 2 世界と日本の貿易とその課題 3 世界を結ぶ資金の流れ 4 世界を結ぶ観光とその課題	a:各単元の項目の内容などについて理解することができる。 a:各単元の項目の内容などについて、さまざまな情報やグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。 b:各単元の項目の内容などについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各単元の項目の内容などについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査・レポート課題	レポート課題・授業プリントの提出
	人口、村落・都市	① 人口 1 人口推移と分布 2 人口構成と人口転換 3 人口移動 4 人口増加地域，減少地域の人口問題 ② 村落・都市 1 集落の成り立ちと機能 2 都市の成り立ちと機能 3 世界の都市・居住問題と解決への努力				

	文化と国家	① 生活文化と言語・宗教 1 生活文化と地域 2 世界の衣服 3 世界の食生活 4 世界の住居 5 世界の言語 6 世界の宗教 ② 国家とその領域 1 国家の形成と領域 2 世界の民族・領土問題 3 日本の領土に関する問題 4 海洋国家としての日本 5 国際連合の役割と課題				

2	地域区分	① 現代世界の地域区分 1 地域区分の目的と方法 2 さまざまな地域区分 3 本書でとりあげる地域と考察方法	a:各単元の項目の内容などについて理解することができる。 a:各単元の項目の内容などについて、さまざまな情報やグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。 b:各単元の項目の内容などについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各単元の項目の内容などについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査・レポート課題	レポート課題・授業プリントの提出・問題集の提出

	現代世界の諸地域	① 中国 1 経済の改革開放による変化 2 経済発展を支える人口 3 経済発展を支える農業の地域性 4 経済・産業の発展と現代の生活 5 経済成長と国内外の課題 ② 朝鮮半島 1 東アジアのなかの朝鮮半島々 2 朝鮮半島の文化と経済発展 3 韓国の課題と国際関係 ③ 東南アジア 1 東南アジアの成り立ちと多様な民族文化 2 自然環境と農業・食文化 3 工業化による発展と生活文化への影響 4 地域内外の経済関係と文化のつながり ④ 南アジア 1 自然環境と人口 2 住民と文化 3 農業と農村 4 産業の発展とグローバル化 ⑤ 西アジア・中央アジア 1 多様な自然環境 2 民族と文化 3 資源開発の進展と生活の変化 4 地域紛争と国際関係 ⑥ 北アフリカ・サブサハラアフリカ 1 自然環境と農業 2 歴史と文化 3 産業と経済発展 4 地域紛争と国際関係 ⑦ ヨーロッパ 1 統合するヨーロッパ 2 統合の背景としての文化の多様性				

		3 自然と農業の地域性と共通農業政策 4 エネルギー・工業と貿易・交通の変化 5 ヨーロッパの変化と課題 ⑧ ロシア 1 自然環境と民族・文化 2 体制転換と産業の変化 3 ロシアと世界の結びつき ⑨ アングロアメリカ 1 自然環境の多様性と自然災害の特徴 2 社会の多様性と多文化社会 3 世界をリードする農業と産業 4 世界と結びつくアメリカ ⑩ ラテンアメリカ 1 多様な自然環境と農業 2 混ざりあう民族，拡大する都市 3 鉱工業の移り変わり 4 地域内外との政治的・経済的関係 ⑪ オーストラリア 1 自然と農牧業・鉱工業 2 多文化主義の社会と大都市の発達 3 世界との結びつき ⑫ ニュージーランドと島嶼国 1 オセアニアのなかのニュージーランド				

3	現代世界におけるこれからの日本の国土像	① 現代日本に求められる国土像 1 2050 年の日本の姿 2 自然市街に強い国土をめざすには 3 産業の変化と持続可能な成長 4 人口減少社会を活性化するためには 5 多文化共生社会の実現をめざして 6 国土像の探究 ～エネルギーの安定供給をめざして～	a:自然災害や産業の変化、人口減少、多文化共生社会への対応など、現代世界における日本の国土の特色や諸課題について、個人や国、国際社会などからの多角的で客観的な視点を身につけることができる。 b:日本がかかえる地理的な諸課題の形成要因について考察し、その過程や結果，今後の改善策について適切に表現することができる。 b:あるべき国づくりや地域づくりについて考察し、自分なりの国土像・地域像や国際関係を見い出し、その過程や結果について適切に表現することができる。 c:自然災害や産業の変化、人口減少、多文化共生社会への対応など、日本の国土や社会・経済の特色や諸課題について関心を高め、その解決の方向性や将来の国土のあり方について意欲的に追究し、さまざまな視点から多面的・多角的に分析・考察しようとしている。	授業内テスト	授業内テスト・レポート課題	レポート課題・授業プリントの提出・問題集の提出
	系統地理の復習	1 地形 2 気候と生態系 3 世界各地の自然と生活 4 日本の環境と防災 5 地球環境問題 6 農林水産業 7 資源･エネルギー 8 工業 9 第 3 次産業	a:各単元の項目の内容などについて理解することができる。 a:各単元の項目の内容などについて、さまざまな情報やグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。 b:各単元の項目の内容などについて、多面的･多角的に考察し、表現することができる。 c:各単元の項目の内容などについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度